

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第91期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	アイシン精機株式会社
【英訳名】	AISIN SEIKI CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 藤森 文雄
【本店の所在の場所】	愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地
【電話番号】	刈谷(0566)24 8265番
【事務連絡者氏名】	経理部長 間宮 友廣
【最寄りの連絡場所】	愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地
【電話番号】	刈谷(0566)24 8265番
【事務連絡者氏名】	経理部長 間宮 友廣
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄3丁目8番20号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第90期 第2四半期 連結累計期間	第91期 第2四半期 連結累計期間	第90期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (百万円)	1,291,961	1,387,016	2,529,964
経常利益 (百万円)	86,774	95,960	158,725
四半期(当期)純利益 (百万円)	41,184	49,155	77,518
四半期包括利益 又は包括利益 (百万円)	46,001	111,709	189,543
純資産額 (百万円)	1,001,921	1,262,495	1,136,343
総資産額 (百万円)	2,062,573	2,464,582	2,248,100
1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	146.13	174.37	275.05
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	146.12	173.84	275.00
自己資本比率 (%)	36.2	38.8	38.1
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	129,118	129,057	256,343
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	70,027	185,064	198,693
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	17,444	22,038	43,967
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	315,975	270,839	298,197

回次	第90期 第2四半期 連結会計期間	第91期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	60.34	71.54

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載していません。  
 2 売上高には、消費税等は含まれていません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当企業グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間の自動車業界における状況は、世界市場全体では新興国での販売拡大や米国市場が引き続き高い販売水準で推移したことなどにより、緩やかに拡大しました。国内においては、景気は持ち直しの動きを見せており、得意先カーメーカーの生産台数も総じて堅調に推移しました。

このような状況の中、『かけがえのないグローバルパートナー』をめざす姿として掲げた「AISIN Group VISION 2020」に基づき、新商品の開発と拡販に引き続き努める一方、持続的な成長に向け、グローバルな事業基盤の構築に取り組みました。

当第2四半期連結累計期間の売上高については、為替変動の影響などにより、前年同四半期（1兆2,919億円）に比べ7.4%増の1兆3,870億円となりました。

利益については、研究開発費や減価償却費が増加したものの、為替変動の影響や収益体質強化活動の成果などにより、営業利益は前年同四半期（844億円）に比べ2.1%増の862億円、経常利益は前年同四半期（867億円）に比べ10.6%増の959億円、四半期純利益は前年同四半期（411億円）に比べ19.4%増の491億円となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりです。

#### アイシン精機グループ

売上高については、前年同四半期（6,130億円）に比べ7.8%増の6,610億円となりました。営業利益は前年同四半期（324億円）に比べ18.8%減の263億円となりました。

#### アイシン高丘グループ

売上高については、前年同四半期（1,090億円）に比べ12.5%増の1,226億円となりました。営業利益は前年同四半期（46億円）に比べ12.7%減の40億円となりました。

#### アイシン・エイ・ダブリュグループ

売上高については、前年同四半期（4,930億円）に比べ5.3%増の5,192億円となりました。営業利益は前年同四半期（358億円）に比べ15.8%増の414億円となりました。

#### アドヴィックスグループ

売上高については、前年同四半期（2,280億円）に比べ10.9%増の2,529億円となりました。営業利益は前年同四半期（63億円）に比べ47.2%増の93億円となりました。

#### その他

売上高については、前年同四半期（948億円）に比べ0.8%減の941億円となりました。営業利益は前年同四半期（47億円）に比べ1.8%増の47億円となりました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、営業活動により1,290億円の増加、投資活動により1,850億円の減少、財務活動により220億円の増加、現金及び現金同等物に係る換算差額により15億円の増加、連結子会社の決算期変更により50億円の増加の結果、当第2四半期連結会計期間末には2,708億円となり、前連結会計年度末（2,981億円）に比べ273億円（9.2%）の減少となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、前年同四半期（1,291億円）に比べ0.6億円減少し、1,290億円となりました。これは、減価償却費が52億円増加したうえで、税金等調整前四半期純利益が91億円増加したものの、法人税等の支払額が149億円増加したことなどによります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、前年同四半期（700億円）に比べ大幅に増加し、1,850億円となりました。これは、定期預金及び有価証券の増減額が743億円増加したことや、投資有価証券の取得による支出が378億円増加したことなどによります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、220億円（前年同四半期は174億円の資金の減少）となりました。これは、配当金の支払額が72億円増加したものの、借入れとその返済による収支が259億円増加したことや、社債の発行による収入が200億円増加したことなどによります。

## (3) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当企業グループの研究開発費は、総額717億円です。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当企業グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	700,000,000
計	700,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	294,674,634	294,674,634	東京・名古屋各証券取引所市場 第一部	単元株式数 100株
計	294,674,634	294,674,634		

(注) 提出日現在の発行数には、平成25年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれていません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日		294,674		45,049		62,926

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
トヨタ自動車株式会社	愛知県豊田市トヨタ町1番地	65,558	22.25
株式会社豊田自動織機	愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地	20,711	7.03
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	13,980	4.74
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	9,431	3.20
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6番6号	6,650	2.26
東和不動産株式会社	名古屋市中村区名駅4丁目7番1号	6,344	2.15
三井住友海上火災保険株式会社	東京都千代田区神田駿河台3丁目9番地	5,902	2.00
株式会社損害保険ジャパン (常任代理人 資産管理サー ビス信託銀行株式会社)	東京都新宿区西新宿1丁目26番1号 (東京都中央区晴海1丁目8番12号)	4,100	1.39
明治安田生命保険相互会社 (常任代理人 資産管理サー ビス信託銀行株式会社)	東京都千代田区丸の内2丁目1番1号 (東京都中央区晴海1丁目8番12号)	3,609	1.22
第一生命保険株式会社 (常任代理人 資産管理サー ビス信託銀行株式会社)	東京都千代田区有楽町1丁目13番1号 (東京都中央区晴海1丁目8番12号)	3,576	1.21
計		139,864	47.46

- (注) 1 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)および日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の所有株式数はすべて信託業務に関わる株式です。  
 2 上表には、当社が所有する自己株式を除いています。当社は自己株式を12,712千株所有しており、発行済株式総数に対する所有株式数の割合は4.31%です。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 12,712,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式 281,825,200	2,818,252	
単元未満株式	普通株式 136,934		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	294,674,634		
総株主の議決権		2,818,252	

(注) 自己保有株式12,712,500株は、株主名簿記載上の株式数であり、平成25年9月30日現在の実保有残高は12,699,000株です。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) アイシン精機(株)	愛知県刈谷市朝日町2丁目 1番地	12,712,500		12,712,500	4.31
計		12,712,500		12,712,500	4.31

- (注) 1 自己保有株式は、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく取締役会決議による自己株式の取得、会社法第163条の規定に基づく子会社からの自己株式の取得および単元未満株式の買取請求によるものです。
- 2 自己保有株式12,712,500株は、株主名簿記載上の株式数であり、平成25年9月30日現在の実保有残高は12,699,000株です。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しています。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)および当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人により四半期レビューを受けています。



1 【四半期連結財務諸表】  
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	213,409	236,109
受取手形及び売掛金	352,274	369,018
有価証券	149,120	159,223
商品及び製品	79,945	81,423
仕掛品	50,933	55,113
原材料及び貯蔵品	49,937	54,168
その他	108,970	129,477
貸倒引当金	831	893
流動資産合計	1,003,761	1,083,641
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	246,900	256,683
機械装置及び運搬具(純額)	301,492	332,020
工具、器具及び備品(純額)	31,304	32,572
土地	118,132	119,653
リース資産(純額)	1,145	1,258
建設仮勘定	71,683	66,980
有形固定資産合計	770,658	809,169
無形固定資産	22,053	23,862
投資その他の資産		
投資有価証券	376,436	469,502
その他	75,523	78,714
貸倒引当金	333	307
投資その他の資産合計	451,627	547,909
固定資産合計	1,244,339	1,380,941
資産合計	2,248,100	2,464,582

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	321,033	332,357
短期借入金	59,472	82,249
1年内償還予定の社債	10,063	10,047
未払法人税等	32,513	27,150
引当金	20,968	21,190
その他	239,575	234,074
流動負債合計	683,626	707,071
固定負債		
社債	60,150	80,135
長期借入金	208,341	233,010
退職給付引当金	103,175	106,139
その他の引当金	5,940	5,590
その他	50,523	70,140
固定負債合計	428,130	495,016
負債合計	1,111,757	1,202,087
純資産の部		
株主資本		
資本金	45,049	45,049
資本剰余金	59,193	59,322
利益剰余金	708,039	746,089
自己株式	20,175	19,986
株主資本合計	792,107	830,474
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99,009	133,883
繰延ヘッジ損益	1,311	1,113
為替換算調整勘定	33,286	6,854
その他の包括利益累計額合計	64,411	125,916
新株予約権	2,793	2,555
少数株主持分	277,030	303,549
純資産合計	1,136,343	1,262,495
負債純資産合計	2,248,100	2,464,582

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,291,961	1,387,016
売上原価	1,111,376	1,181,683
売上総利益	180,584	205,333
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	27,347	32,151
その他	68,757	86,906
販売費及び一般管理費合計	96,104	119,057
営業利益	84,480	86,275
営業外収益		
受取利息	973	748
受取配当金	1,837	3,075
持分法による投資利益	2,946	4,618
その他	5,788	8,407
営業外収益合計	11,546	16,850
営業外費用		
支払利息	2,737	3,037
その他	6,515	4,127
営業外費用合計	9,253	7,164
経常利益	86,774	95,960
税金等調整前四半期純利益	86,774	95,960
法人税等	28,138	26,338
少数株主損益調整前四半期純利益	58,635	69,622
少数株主利益	17,451	20,466
四半期純利益	41,184	49,155

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	58,635	69,622
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,377	35,081
繰延ヘッジ損益	23	196
為替換算調整勘定	1,818	4,609
持分法適用会社に対する持分相当額	52	2,200
その他の包括利益合計	12,634	42,087
四半期包括利益	46,001	111,709
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,757	89,860
少数株主に係る四半期包括利益	17,244	21,848

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	86,774	95,960
減価償却費	65,837	71,107
売上債権の増減額(は増加)	25,382	12,386
たな卸資産の増減額(は増加)	5,676	1,260
仕入債務の増減額(は減少)	22,139	839
その他	2,308	10,739
小計	152,486	166,615
利息及び配当金の受取額	4,441	5,477
利息の支払額	2,642	2,949
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	25,167	40,085
営業活動によるキャッシュ・フロー	129,118	129,057
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金及び有価証券の増減額(は増加)	15,744	58,609
有形固定資産の取得による支出	86,463	88,838
有形固定資産の売却による収入	2,532	1,711
投資有価証券の取得による支出	13,594	51,429
投資有価証券の売却及び償還による収入	15,137	15,519
その他	3,382	3,418
投資活動によるキャッシュ・フロー	70,027	185,064
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金及びコマース・ペーパーの増減額(は減少)	4,385	809
長期借入れによる収入	1,728	44,685
長期借入金の返済による支出	9,809	21,579
社債の発行による収入	-	20,000
配当金の支払額	7,044	14,098
少数株主への配当金の支払額	6,467	6,634
その他	236	474
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,444	22,038
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,328	1,523
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	40,318	32,444
現金及び現金同等物の期首残高	275,656	298,197
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(は減少)	-	5,086
現金及び現金同等物の四半期末残高	315,975	270,839

【注記事項】

( 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更 )

連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日の海外子会社は、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っていましたが、アイシン・ホールディングス・オブ・アメリカ(株)他55社は第1四半期連結会計期間より決算日を12月31日から3月31日に変更し、アイシン精機(中国)投資(有)他32社は連結決算日において仮決算を実施した上で連結することに変更しています。

これらの変更に伴い、平成25年1月1日から平成25年3月31日までの3ヶ月の損益については利益剰余金に計上するとともに、キャッシュ・フローについては現金及び現金同等物の期首残高の調整項目として計上しています。

( 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係 )

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	270,620百万円	236,109百万円
有価証券勘定	125,600	159,223
流動資産 その他	103,630	129,477
預入期間が3ヶ月を超える定期預金等	21,334	75,075
取得日から償還日までが3ヶ月を超える 短期投資等	60,894	51,014
現金同等物以外の流動資産その他	101,646	127,881
現金及び現金同等物	315,975	270,839

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月19日 定時株主総会	普通株式	7,045	25	平成24年3月31日	平成24年6月20日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月31日 取締役会	普通株式	7,045	25	平成24年9月30日	平成24年11月26日	利益剰余金

2 株主資本の金額の著しい変動

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成24年4月1日 残高 (百万円)	45,049	59,160	644,612	20,237	728,584
四半期連結累計期間中の変動額					
剰余金の配当			7,045		7,045
四半期純利益			41,184		41,184
自己株式の取得				1	1
自己株式の処分		11		18	29
持分法適用会社の除外に伴う 自己株式の減少				11	11
四半期連結累計期間中の変動額合計 (百万円)		11	34,138	29	34,179
平成24年9月30日 残高 (百万円)	45,049	59,171	678,751	20,208	762,763

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月18日 定時株主総会	普通株式	14,092	50	平成25年3月31日	平成25年6月19日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月31日 取締役会	普通株式	9,868	35	平成25年9月30日	平成25年11月26日	利益剰余金

2 株主資本の金額の著しい変動

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成25年4月1日 残高 (百万円)	45,049	59,193	708,039	20,175	792,107
四半期連結累計期間中の変動額					
連結子会社の決算期変更に伴う 増減			2,986		2,986
剰余金の配当			14,092		14,092
四半期純利益			49,155		49,155
自己株式の取得				4	4
自己株式の処分		128		193	321
四半期連結累計期間中の変動額合計 (百万円)		128	38,049	188	38,366
平成25年9月30日 残高 (百万円)	45,049	59,322	746,089	19,986	830,474



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	アイシン精機 グループ	アイシン高丘 グループ	アイシン・ エイ・ダブリュ グループ	アドヴィックス グループ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	464,401	67,224	479,135	213,007	1,223,768	68,192	1,291,961
セグメント間の 内部売上高	148,657	41,776	13,942	15,072	219,449	26,707	246,156
計	613,059	109,000	493,077	228,080	1,443,218	94,899	1,538,118
セグメント利益	32,459	4,673	35,820	6,351	79,303	4,702	84,006

(注)「その他」の区分には、各報告セグメントに属さない自動車部品事業が含まれています。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	79,303
「その他」の区分の利益	4,702
セグメント間取引消去	536
その他の調整額	62
四半期連結損益計算書の営業利益	84,480

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	アイシン精機 グループ	アイシン高丘 グループ	アイシン・ エイ・ダブリュ グループ	アドヴィックス グループ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	503,340	76,517	506,970	235,509	1,322,337	64,679	1,387,016
セグメント間の 内部売上高	157,667	46,149	12,276	17,472	233,565	29,468	263,033
計	661,007	122,666	519,246	252,981	1,555,902	94,147	1,650,050
セグメント利益	26,354	4,080	41,487	9,346	81,269	4,786	86,056

(注)「その他」の区分には、各報告セグメントに属さない自動車部品事業が含まれています。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	81,269
「その他」の区分の利益	4,786
セグメント間取引消去	149
その他の調整額	69
四半期連結損益計算書の営業利益	86,275

( 1 株当たり情報 )

1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
(1) 1 株当たり四半期純利益	146円13銭	174円37銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益 (百万円)	41,184	49,155
普通株主に帰属しない金額 (百万円)		
普通株式に係る四半期純利益 (百万円)	41,184	49,155
普通株式の期中平均株式数 (千株)	281,825	281,896
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	146円12銭	173円84銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額 (百万円)		
普通株式増加数 (千株)	29	861
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

( 重要な後発事象 )

該当事項はありません。

2 【その他】

(1) 中間配当に関する取締役会決議は次のとおりです。

決議年月日 平成25年10月31日 ( 中間配当支払開始日 平成25年11月26日 )  
 中間配当金の総額 9,868百万円  
 1 株当たりの中間配当額 35円

(2) その他特筆すべき事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月13日

アイシン精機株式会社  
取締役会御中

### あらた監査法人

指定社員 公認会計士 川原光爵  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 手塚謙二  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアイシン精機株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アイシン精機株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。